

## 6次産業の取り組みを紹介します

### 「串間を世界一の サツマイモ産地に」

2013年に法人化し、日本の農業生産法人で唯一、6品種のサツマイモの生産・販売を手掛け、周年出荷の体制を構築。現在、従業員は19名で会社の成長と共に雇用も年々拡大しています。

出荷は国内にとどまらず、東南アジアを中心に海外にも輸出。また、今年度から社内加工工場を新設し、加工品の開発、販売も開始しています。

同社は、今後、生産量の増加を図りながら、輸出の拡大、サツマイモ専門店の世界展開などさらなるグローバル化を目指します。さらに新たな取り組みとして「農業で独立したい」人を募集し、就農支援も計画中。

串間市を世界一のサツマイモ産地にするために日々努力を続けている同社。これからのさらなる飛躍が期待されます。



株式会社 くしまアオイファーム

### 「1年中おいしいきんかんを」

6次産業化を目指し、2012年に市内のきんかん生産農家女性8人が集まり、「たまたまクラブ」を設立。旬の時期以外でもおいしいきんかんを味わってもらおうと、完熟きんかん「たまたま」を使ったアイスの開発を続け、何十種類もの試作品を作成し、試行錯誤を重ねてきました。

本格的に商品化へ動き出したのは2014年。市と県の補助を受け、串間温泉「いこいの里」敷地内にアイス加工施設を設けると、完熟きんかんがたっぷり入った「たまりッチアイス」の製造、販売をスタートさせました。

完熟きんかん「たまたま」のおいしさを多くの人に伝えるべく6次産業に取り組む同クラブ。今後もさらなる挑戦を続けていきます。



たまたまクラブ

### 「ヤマダイ甘しょの消費拡大を」

J A串間市大東管内の甘しょ生産農家4人が県の支援事業を活用し、2013年に「ヤマダイフーズ」を設立。市や県の補助を受けて、J A大東本所の隣に加工工場を設けました。商品には、大東産ヤマダイ甘しょを使用し、主に冷凍カット甘しょなど業務用の一次加工品を製造、販売。他にもかりんとうや芋チップスなども手掛けています。

甘しょは、サイズなどが流通に向かないものを主に使用し、加工販売することで所得向上に努めています。

マーケティングや販売ルートの拡大など課題はたくさんあるとのことですが、試行錯誤をくり返しながら6次産業化に取り組むヤマダイフーズ。これからさらに大東産甘しょの認知度向上と消費拡大を目指して取り組んでいきます。



ヤマダイフーズ

### 6次産業化をサポートします



農業振興課 課長  
よくに やすのぶ  
吉国 保信さん

宮崎県では、みやざき6次産業化サポートセンターを設置し、各種相談窓口の開設やコーディネーター・プランナーの派遣などを行っています。

また、串間市でも現在取り組んでいる団体だけでなく、新たに6次産業化に取

り組む団体への支援・相談なども行っていますので、お気軽に串間市役所農業振興課までお問い合わせください。

串間市一体となって、地域活性化のための新たな「可農性」につなげましょう。

問い合わせ先 農業振興課農政企画係 ☎内線427・428

# 地域資源を生かす 6次産業化のススメ

現在、本市では、4割弱の方が農林水産業に従事しており、第1次産業が本市の基幹産業となっています。しかし、従事者の高齢化などによる後継者不足、販売価格の低迷や燃料代の高騰による所得の減少など、大変厳しい状況にあります。

そのような中、生産するだけでなく、さまざまな視点からその資源を活用する取り組みが見られるようになりまし。生産から加工、販売までの一体化や、産業を体験型観光として商品化する取り組み。これらが「6次産業化」です。6次産業化が確立されることで、地域の雇用拡大や所得の向上が図られ、豊かな暮らしと魅力あふれる串間市の創造につながります。

#### 6次産業化とは

農林漁業者（1次産業）が加工（2次産業）、販売（3次産業）に取り組み、新たな付加価値を生み出す試み



#### 6次産業化のメリット

①

農林水産物の  
高付加価値化

②

生産者の所得向上

③

雇用の拡大